【基本方針2】

【府立高校をめぐる現状と課題】

「特色づくり・再編整備計画」による特色づくり

生徒減少が続く中、学習ニーズの多様化を 踏まえ、生徒が「入れる学校」ではなく「入 りたい学校」を選択できるよう、特色づくり と再編整備を進めてきた結果、中学生の進路 選択幅が拡大し、目的意識をもって入学する 生徒が増えるなど、府立高校の活性化や教育 力の向上がもたらされました。

一方で、改革の効果がまだ十分に発揮されていない学校も見られるとともに、生徒の一部には、結果として自分の個性や学びのスタイルと学校の選択がミスマッチを起こしていたり、学ぶことに主体的に取り組めていない状況があります。

〇 *普通科における特色づくり*

専門コースや多様な選択科目を設けること により、生徒の興味・関心や進路希望等に対 応してきました。

また、普通科高校を中心に、特色づくりを

≪府立高校等の再編整備の進捗状況≫

学校の種類 * ¹⁵	平成 10 年度	平成 20 年度 (決定済の計画
		含む)
普通科	117	73
専門学科併置	19	11
普通科総合選択制		19
普通科単位制	_	4
総合学科	3	9
専門高校	16	15
多部制単位制	_	6
中高一貫校	_	1
計(昼間の高校)	155	138
定時制	29	15
通信制	1	1
工業高等専門学校	1	1

一層進めるため、「次代をリードする人材育成研究開発重点校(エル・ハイスクール)」「経営革新プロジェクト事業」「総合活性化事業(アクティブ・ハイスクール)」等の事業を展開し、組織的で計画的な教育実践に取り組んできました。その成果を一部の高校にとどめることなく、すべての高校に広げ、特色づくりの支援方策をさらに充実させることが課題となっています。

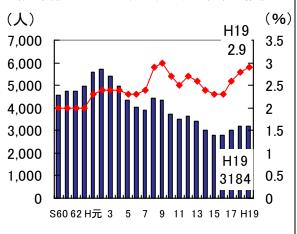
〇 生徒の状況

中途退学については、平成 9 年度以降減少 傾向にありましたが、近年増加傾向に転じ、 平成 19 年度の府立高校の中退率は、全日制の 課程が 2.9%、定時制の課程が 15.8%で、全 国で最も高くなっています。

中途退学者の約6割は1年生が占め、普通 科については、中途退学が一部の学校に集中 しているという厳しい現実があり、中途退学 防止は喫緊の課題となっています。

進路状況については、普通科では進学者の 割合が高く、工業、農業などの実業系の専門 学科では就職者の割合が高くなっています が、全体として大学等への進学率が高まる傾 向にあります。

≪府立高校(全日制)の中退率と中退者数の推移≫



【基本方針2】

すべての府立高校が魅力を高めあい「入ってよかった」と 言われる学校をめざします

就職や進学など多様な進路選択を実現するための機関としての期待に応えるため、「卓越性」と「公平性」を高い水準で両立させます。そのため、すべての学校の個性化を図り、それぞれの学校が「入れる学校」から「入りたい学校」「入ってよかった学校」となるよう、府立高校全体の教育の質の向上を図っていきます。

(重点項目5)特色づくり・再編整備の成果と課題を踏まえた府立高校の充実

- ◇ 特色づくり・再編整備については、各府立高校の状況や社会情勢等の変化をも踏まえ、改革 の理念の実現をめざした取組みをさらに進めます。
- ◇ 中学3年生の教育活動や進路指導への影響、一層幅広い学校選択を可能とする等の観点から、 入学者選抜制度のあり方を検討し改善を図ります。また、学校規模を弾力化し、各学校の状況に応じた教育活動を促進します。

(重点項目6) 幅広い教育ニーズに応える教育内容の充実

- ◇ 各府立高校が自校の状況を踏まえて企画・提案した取組みを府教育委員会が評価・支援する など、普通科を含めたすべての学校の特色づくりの定着と充実を図ります。
- ◇ 中途退学、不登校[™]等の**課題が集中して現れている学校に対して**は、学力の確実な定着や進 路実現に向け、**関係諸機関との連携を図る**とともに、**教育条件の整備や支援**を進めます。
- ◇ 産業界や高等教育機関、中学校、私立高校、専修学校 等との連携・接続を強化する取組み を推進します。また、府立高校における先進的取組みや成功事例を広く発信し共有化することにより、府立高校全体の教育の質の向上を図ります。
- ◇ 大阪のものづくり人材を支える工科高校、工業高等専門学校の教育内容の充実を図ります。
- ◇ 定時制・通信制の課程の教育環境・教育内容を充実し、活性化を図ります。

(重点項目7) 生徒の「自立・自己実現」の支援

- ◇ 全府立高校で生命を尊重し一人ひとりを大切にする教育を進めます。また、高校生としての基礎的な学力、社会人となるために必要な規範意識等を確実に身に付けさせるとともに、自己の進路を主体的に選択し決定する力をはぐくむため、キャリア教育*****等を推進します。